

**総会**

## 全議案を承認

### 泥土リサイクル協会

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は26日、名古屋市内で第18回通常総会を開いた。再生材活用を促進する「泥土リサイクル活性化プロジェクト」の1年間延長を決める事業計画案など全議案を承認した。また馬瀬建設（岐阜県下呂市）など5社の新規会員が紹介された。

あいさつに立った安田利文副理事長は「写真」は、発足からの17年間を振り返り「建設汚泥の再資源化率が95%に達したことの一助になれた」とするも、「高い再資源化率となった一方で、現場内や工事間利用は著しく減少している。実感として建設汚泥の再資源化が進んでいない」と指摘。会員らへ、再生材の活用を目的としている「泥土リサイクル活性化プロジェクト」への積極的な協力を支援を呼び掛けた。

当日は、環境地盤工学研究所の嘉間雅史理事長、先端建設技術センター企画部の新妻弘章参事による基調講演が行われた。

